

対象クラス	3年 生活文化科 福祉看護類型	単位数	4
使用教科書	生活と福祉 (実教出版)		
使用副教材	なし		

「生活と福祉」はこんな科目です。

高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得し、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てることを目標にした科目です。

科目の到達目標（目標とする検定等）

- ・高齢期に至るまでの健康づくりについて考え、ライフステージごとの健康管理について理解します。
- ・高齢者福祉に関する法律や制度・サービスについて理解し、介護予防の考え方にに基づき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。
- ・地域の高齢者の生活に関心を持ち、高齢者と積極的に関わり、適切な生活支援や介護ができ、福祉の充実・向上を目指すことのできる能力と実績的な態度を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の健康管理や介護に関心があり、積極的に授業や実習に取り組んでいるか。 ・高齢者の自立生活を支えようとする意欲や実践的な態度が見られるか。 	授業態度 発展学習への取組状況 レポート提出 学習プリント提出
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の特徴や現状と課題について把握し、介護予防の観点から高齢者の健康や生活を地域で支えるためのサービス提供について具体的な事例を通して考え、実践することができる。 	定期考査 レポート提出 実習
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・生活援助、介護の基礎的な技術が身に付いているか。 	実習・実技への取組状況
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期に至るまでの健康づくりや自立生活支援に関する知識と技術が理解できているか。 ・介護に関する知識と技術を理解できているか。 ・高齢者福祉の制度とサービスについて理解できているか。 	定期考査 学習プリント提出

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期 中 間	3章 高齢者の自立生活支援	<オリエンテーション> 1節 自立生活支援の基本となる考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊厳を理解した上での介護のあり方を考え、マイレージなど社会福祉の基本的な考えや高齢者の自立生活を支える地域の役割について理解する。 ・高齢者支援の様々な制度を理解し、その課題を考える。
	4章 高齢者支援の法律と制度 【前期中間考査】	3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム	
前 期 期 末	3章 高齢者の自立生活支援	2節 高齢者介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の考え方にもとづいた見守りや支援の重要性や麻痺・視聴覚障害・認知症の介護について理解する。 ・日本の高齢化の進展状況を把握し、高齢社会に対応した社会保障や社会福祉制度を理解する。 ・普通救命講習や理学療法講習会を受講し、技術を身に付ける。 【実習】バイタルサイン・口腔の清潔・救急法・高血圧と低血圧・糖尿病など
	4章 高齢者支援の法律と制度 5章 介護・看護の実習と生活支援 【前期期末考査】	1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ 2節 看護の実習 *普通救命講習受講 *外部講師講習会	
後 期 中 間	4章 高齢者支援の法律と制度 【後期中間考査】	2節 介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度のしくみや介護サービスやその利用までの流れや介護予防のための地域支援事業を理解する。 ・高齢者の自立生活につながる支援の方法を理解する。 ・介護予防の観点から高齢者の健康や生活を地域で支えるための高齢者サービスについて理解する。
		3節 生活支援 衣食住の支援 住宅改修検討、衣服管理	
後 期 期 末	【学年末考査】	調理実習 *外部講師講習会(手話講習会)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援の実践を通して、要介護者の心理を理解し、多面的な支援の在り方を考える。 ・手話技術の習得向上につとめ、手話を使ったコミュニケーションの楽しさを知る。

